
1. 寄稿

健康モビリティ・マネジメント教育の観点による保健学習

【秦野市立本町小学校長 高木 俊樹】

今年の3月、4年生の「保健体育」の学習において、「健康モビリティ・マネジメント教育」の観点による「育ちゆくからだわたし」の授業を本校で実践した。MM教育の観点による保健の学習？これだけではなかなかイメージしにくいかもしれない。きっかけは筑波大学准教授の谷口綾子先生のアイデアである。このように書くとどうだろう。

「自らの移動を記録し整理することで、歩行量と移動手段、移動目的などの関連性を理解し、健康増進という観点で『望ましい交通行動』とはどういうものかを考えさせる。」

まずは3月7日、あるクラスの子どもたち全員に一個ずつ活動量計を持たせた。

「クラス児童全員が活動量計を持ち歩行量を計測しよう。」

翌8日には1日目の歩行量をひとりひとりがカードに書いて紹介する。当然個人によって歩行量に差異があることがわかる。最高数量「24,362歩」、最低「約5,000歩」。その理由は？「学校から家までの距離が違う。」「家に帰った後の運動量で違う。」「帰ってから何をしたかで変わる。」「…休み時間の過ごし方や放課後の行動の仕方で歩行量は違いが出る。ここで資料の紹介、現在の小学生の1日の平均歩数は「11,000歩」、しかし20年前の小学生の平均は「15,000歩」30年前は「27,000歩」である。どうしてこんなに減ったんだろう。子どもたちは発言する。「ゲームや室内の遊びが増えた。」「すぐに車に乗ってしまう。」「外で体を使って遊ぶ機会が少なくなった。」なるほど。実は歩行量が減ることは、他にも人間の身体にとってこんな影響がある、と次は教師からの事実の紹介を行う。「病気になるやすい・肥満傾向になる・骨折しやすい・筋力の低下を起こす・意欲や気力の低下につながる…」この日の授業はここでおしまい。

「昨日学習したことを意識したら1日の歩行量は変わっただろうか？」

9日の学習問題である。変わった。変わった。7日から8日にかけての23名の平均値が「14,137歩」だったのが、8日から9日にかけては24名平均「17,430歩」。男の子だけで見れば前日が平均「19,876歩」、翌日「35,755歩」！問うてみる。どんなことに心がけたの？「元気に遊んだ。」「習い事で車を使ったけどそのあとは歩くようにした。」「エレベーターやエスカレーターを使わず階段を使った。」「なるべくゲームはしない。」「車を使わずバスを使ったり歩いたりした。」「近くに行くときは歩いて行く」…いい心がけだ。

この授業の中では、「活動量計」というひとつのツールを持つだけで、子どもたちの「歩くこと」に対するモチベーションは高いものとなった。「数はどうなるか。いかに増やすか。」に執着していた子どもたちは、心身ともに健康を保つためにも「歩くこと」が意味あることを知って以降、さらに「歩くこと」にこだわりを持ち始めるようになった。「保健」という観点から、身体を使って動くことの意味を知り、その中の一部ではあるが、己の生活の中での自動車の位置づけを考えるようになった。

彼らは、7～8ヶ月後に5年生として自動車工業の学習とともに、「交通マネジメント学習（スリム化教育）」に出会うことになる。健康というフィルターから、新たに環境問題というフィルターを通して自己の生活のあり方を問い直す新たなMM教育の場に、今回の実践が有機的に結び付くことは間違いないであろう。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga24.pdf

2. 交通環境学習の取り組み

(1) 交通環境学習開催のお知らせ

■岩沼市、iバス乗り方教室の参加者を募集（岩沼市）

宮城県の岩沼市市民の足である市民バス（通称：iバス）を気軽に使ってもらうため、岩沼市は今年も市民バスの乗り方教室を実施。対象は町内会、幼稚園、保育所、小学校、介護福祉施設など。

<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/kotsu/shimin-bus/norikata.html>

■堺市、「ペーパークラフトでバスの乗り方を学ぼう」を実施（堺市）

大阪府の堺市は8月3日、堺市立みはら歴史博物館で、堺市内在住の小学生を対象に、ペーパークラフト（紙による工作）を使ったバスの乗り方教室を開催。

<http://www.city.sakai.lg.jp/smph/shisei/toshi/kokyokotsu/oshirase/norikatayoushitsu.html>

■松江市交通局、バス乗り方教室を募集（松江市）

島根県の松江市交通局は、今年も出前講座「バス乗り方教室」を実施。10名以上のグループ・団体からの申し込みが可。

<http://matsue-bus.jp/other/573>

■山口市公共交通委員会、公共交通教室の実施団体を募集（山口市）

山口県の山口市公共交通委員会は、バスの利用促進やお出かけの手段を増やすため、公共交通教室（バスの乗り方教室）の実施団体を募集。対象は高齢者団体、幼稚園、保育園、小・中・高校、PTA、子ども会など。

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/73/2025.html>

■小田急グループ「親子体験イベント2017」を開催（川崎市・世田谷区）

昨年に続き、小学生とその保護者を対象に親子体験イベントを開催（今年は全15教室、総計215組438名を募集）。小田急バスは7月22日に『「きゅんた」と一緒～バスのお仕事体験～』を実施（川崎市）。小田急電鉄は8月3日に「環境教室”電車と駅のエコの秘密”」（世田谷区）、8月16日にファミリー鉄道教室を開催（川崎市、世田谷区）。

<http://www.odakyu.jp/oyako/event/>

■神奈川県横浜市「環境教育出前講座」の受講者を募集（横浜市）

市内の小中学校や市民を対象に、市民団体、企業、国際機関、市役所など専門知識を持つ講師が講義を行う「環境教育出前講座」を今年も実施。交通環境学習に関しては「電車、バス、クルマ・・・どれがエコ？」を用意し、電車、バス、クルマ、自転車といった、いろいろな乗り物と地球温暖化との関係を学び、地球にやさしく、人にも便利な、かしこい移動のしかたを考える。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyouiku/demae/>

■兵庫県伊丹市「出前講座」の申込受付を開始（伊丹市）

まちづくり基本条例に基づき、市民の学習の機会の提供と市政への理解や関心を深めるため、市職員が出向いて説明と意見交換を行う「出前講座」の申込受付を開始。交通環境学習に関しては、『市バスは人と環境に優しい公共交通！～環境負荷の軽減と安全・快適なサービスの提供への取り組み～』、『学ぼう！楽しもう！市バスに乗って～乳幼児から小学生、保護者を対象にした「市バス教室（交通局見学）」の実施～』の2つを用意。

<http://www.city.itami.lg.jp/i/SOSIKI/SHIMIN/MACHI/1387455594137.html>

（2）「バスの乗り方教室」

（東北）

■秋田県の秋北バスは路線バスの乗車促進活動のために交通安全教室を実施。4月11日に西館小学校の全校生、4月13日に早口小学校、4月14日に釈迦内小学校で開催。ダミー人形を使用しての衝突実験、内輪差実験、バスの乗り方教室、紙芝居を用いて乗り方やマナーを学んだ。

http://www.shuhokubus-gr.co.jp/topics/29safety_school.html

（関東）

■東京都の西東京バスは、5月1日に八王子市立加住小学校で、5月22日に元八学童保育所で、6月21日に加住小学校で、6月26日に唐松学童保育所でそれぞれバス乗り方教室を開催。

<http://www.nisitokyobus.co.jp/nishichun/work.html>

■栃木県の県央地域公共交通利活用促進協議会（3市5町）は7月8日、茂木町立茂木小学校で「バスの乗り方教室」を実施。公共交通の利用促進を図るため。3年生の子どもたちがバスの乗降方法、乗車時のマナー、車いすでのバスの乗降方法などを体験。

<http://www.tochigi-pubtranet.com/36.html>

（中部）

■静岡県沼津市の大聖学園中央幼稚園の年長組は6月20日、バスの乗り方教室を実施。

<http://chuou.s163.coreserver.jp/?p=16791>

（近畿）

■和歌山大学教育学部附属小学校は5月11日、バスの乗り方教室を実施。多くの同小学校児童がバス通学をしているため。バスの中でのマナー、バス停での待ち方、降車の仕方など、実際の路線バスを使って学んだ。

http://www.aes.wakayama-u.ac.jp/index.php?block_id=86&post_id=1395&comment_flag=1&action=journal_view_main_detail

（四国）

■愛媛県の伊予鉄道は、4月10日に済美平成中等教育学校の新入学生（126名）、4月17日には愛媛大学教育学部附属小学校の新入生（およそ100名）を対象にそれぞれ出前授業「電車・バスの乗り方と公共交通マナー教室」を実施。電車・バスの乗り方や車内で守ることなどスライドを使った講義、実際の路線バスとICい〜カードを使った乗車体験を実施。

済美平成中等教育学校：

http://www.iyotetsu.co.jp/topics/17/manner_school.html

愛媛大学教育学部附属小学校：

http://www.iyotetsu.co.jp/topics/17/manner_school_es.html

■愛媛県の伊予鉄道と東温市は5月25日、東温市さくらこども館で「路線バス親子体験教室」を開催。公共交通機関のCSR活動の一環。未来を担う子どもたちが実際のバスに触れて公共交通を身近に感じてもらうことを目的として市内の幼児とその保護者を対象に開催。電車・バスの乗り方やICい〜カードの使い方を説明した後、駐車場で路線バスの乗車体験や運転席での記念撮影などを行い、東温市が参加者に「バス応援団員認定証」を配付。

http://www.iyotetsu.co.jp/topics/17/toon_school_oyako.html

■高知県の土佐くろしお鉄道四万十くろしおライン（中村・宿毛線）は6月1日、3～6才の四万十市の中村幼稚園の園児を対象に、バス・列車乗り方教室を開催。園児は寸劇『乗り方教室♪』を見ながら乗り方を学んだ。

<http://www.tosakuro.com/single-post/2017/06/08/%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%82%BA%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%96%E9%80%9A%E4%BF%A1>

（九州）

■長野県の椿が丘保育園は2月20日、長崎バスをまねき、バスの乗り方教室を実施。バス試乗、バスの日やバスの乗り方などについて話を聞いた。

<http://www.tsubakigaoka-ho.com/blog/2017/02/2-3.html>

（3）その他

■山口県のサンデン交通は5月31日、下関市立川中公民館で川中自治連合会の協力を得て高齢者を対象とした「バスの乗り方教室」を実施。約30名が参加。山口県警による「事故にあわない、起こさないポイント」や中国運輸局山口支局による「高齢者の事故増加について」の講話を聞いたり、停車時の「揺り戻し」などを実際に体験したりした。

<http://www.sandenkotsu.co.jp/bus/archives/1360>

■島根県の松江市交通局は6月7日、一畑バス、日ノ丸自動車とともに宍道公民館前駐車場でバスの乗り方教室を実施。

<http://matsue-bus.jp/other/614>

■佐賀県佐賀市は5月17日、高齢者のバス利用を促そうと、赤松校区に住む65歳以上のシニア世代を対象にした「バスの乗り方教室」を赤松公民館で開いた。70代から90代の高齢者約40人が参加。実際にバスに乗り込み、適切な利用方法を学んだ。

<http://www.tsunasaga.jp/akamatsu/2017/05/post-46.html>

3. ニュース/トピック

■長野県の大学と高校がバスの外装をコラボデザイン

長野県蓼科高等学校と長野大学がコラボデザインした長野県立科町のバスのお披露目が3月21日、蓼科高等学校の終業式終了後に行われ、卒業生も駆け付けた。この事業は「立科町まるごと体験事業」の一環で、デザインされたバスは観光客の送迎や町内の周遊に使われる。

http://www.town.tateshina.nagano.jp/cmsfiles/contents/0000000/570/20170310_press.pdf

■サンデンバス、なつやすみこども50円バス（夏休み定期券）

山口県のサンデンバスはサンデン交通の全路線（福岡線、特急下関行、特急宇部空港行きを除く）を1乗車50円で乗れる「なつやすみこども50円バス」を7月21日から8月31日まで販売。

<http://www.sandenkotsu.co.jp/bus/archives/1383>

■伊予鉄、「IYOTETSU 小学1年生パスポート」贈呈式

愛媛県の伊予鉄道は4月14日、たちばな小学校で「IYOTETSU 小学1年生パスポート」贈呈式を開催（今年は約12,000人に配付）。新小学1年生、学校関係者、松山東交通安全協会などが出席。「IYOTETSU 小学1年生パスポート」は、昨年より、愛媛県内の新小学1年生を対象に、土曜日・日曜日・祝日に伊予鉄道の電車・バス（高速バス、特急バス、坊っちゃん列車除く）および、いよてつ高島屋の大観覧車くるりん（1カゴ）が無料となる年間無料パス。

<http://www.iyotetsu.co.jp/topics/17/passport.html>

■神戸市営交通、100周年記念に花バスデザインラッピングバスを運行

兵庫県の神戸市交通局は8月1日で神戸市電の開業100周年をむかえるため、5月21日に開催された神戸まつりのパレードで、往年の花バスをモチーフにしたラッピングバスを披露。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2017/05/20170519701101.html>

4. イベント、フォーラム、セミナー等の開催内容

●第12回日本モビリティ・マネジメント会議

日時：2017年7月28日（金）、29日（土）

場所：福岡県福岡市 アクロス福岡

主催：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●平成29年度「こども霞が関見学デー」国土交通省見学プログラム

日時：2017年8月2日（水）・3日（木）

場所：国土交通省（中央合同庁舎3号館など）

主催：国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/kids/index.html>

●第9回土木と学校教育フォーラム

日時：2017年8月6日（日）9：00～17：00

場所：土木学会講堂

主催：公益社団法人土木学会 教育企画・人材育成委員会「土木と学校教育会議」検討小委員会

<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/39>

●一般財団法人地域公共交通総合研究所 第5回シンポジウム

日時：2017年8月9日（水）13：00～18：00

場所：政策研究大学院大学 想海楼ホール

主催：一般財団法人地域公共交通総合研究所

<http://chikoken.org/simpo5.html>

●第25回 地球環境シンポジウム

日時：2017年9月6日（水）～9月8日（金）

場所：神戸大学 工学部 LR 棟

主催：土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/global/node/41>

●京都スマートシティエキスポ2017

日時：(1日目) 2017年9月29日(木) 10:00~17:00

(2日目) 2017年9月29日(金) 10:00~17:00

場所：けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか

主催：京都スマートシティエキスポ運営協議会

<https://expo.smartcity.kyoto/>

●第7回地域の交通環境対策推進者養成研修会(金沢)

日時：2017年10月11日(水)~13日(金)

場所：ITビジネスプラザ武蔵6階「交流室1」

主催：EMT普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省北陸信越運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2017.html>

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2017

日時：2017年10月28日(土)、29日(日)

場所：東洋大学白山キャンパス

主催：くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<https://zenkokuforum.jimdo.com/>

●エコプロダクツ2017

日時：(1日目) 2017年12月7日(木) 10:00~18:00

(2日目) 2017年12月8日(金) 10:00~18:00

(3日目) 2017年12月9日(土) 10:00~17:00

場所：東京ビッグサイト 東ホール

主催：一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/outline/000511.html>

